

糖尿病とは？

【糖尿病の種類】

●1 型糖尿病

膵β細胞の破壊により、インスリン分泌が急速・不可逆的に低下し高血糖となります。インスリン分泌能は最終的には廃絶します。自己抗体が検出される自己免疫性と、自己抗体が証明できない特発性に分類されます。1 型糖尿病はわが国では少なく、全糖尿病の 5～10%以下です。

●2 型糖尿病

インスリン分泌障害とインスリン抵抗性の増大が様々な程度で生じ、慢性の高血糖状態となる疾患です。複数の遺伝因子に過食・運動不足・ストレスなどの環境因子(生活習慣の不良)や加齢が加わり発症します。わが国の糖尿病の大半を占めています。

※インスリン抵抗性…組織におけるインスリン感受性が低下し、インスリンが効きにくくなっている状態を意味します。

●その他の特定の機序、疾患によるもの

糖尿病以外の病気や、治療薬の影響で血糖値が上昇し、糖尿病を発症することがあります。

●妊娠糖尿病

妊娠糖尿病とは、妊娠中に初めてわかった、まだ糖尿病には至っていない血糖の上昇をいいます。

【症状】

糖尿病では、かなり血糖値が高くなければ症状が現れません。高血糖による症状には多尿、口渇、多飲、体重減少などがあります。さらに血糖値が高くなると、意識障害に至ることもあります。

2 型糖尿病は 1 型糖尿病と異なり進行が緩徐であるため、発症しても長期間自覚症状がなく気づかれなかったり、早期に診断されても自覚症状がないため受診・治療を中断してしまったりすることが多いです。

【糖尿病の合併症】

糖尿病には様々な合併症があります。

ここでは代表的な急性合併症および、慢性合併症のうちの三大合併症についてお届けします。

●急性合併症**①糖尿病ケトアシドーシス**

極度のインスリン欠乏により、糖利用低下、脂肪分解が亢進し、これを受けて生じる脱水とアシドーシスが本態であり、重症では昏睡をきたします。

※アシドーシス…血液は通常 pH7.4±0.05 に保たれていますが、様々な要因により pH は変動することがあります。pH が低下傾向にある状態をアシドーシスといいます。

②高浸透圧高血糖症候群

感染や脱水が誘因となり著明な高血糖および高浸透圧をきたし、脳神経系の細胞内脱水が起こることで重症では昏睡状態となります。

●慢性合併症〈三大合併症〉**① 糖尿病神経障害**

運動神経が障害されると、眼球を動かすのが不自由になってものが二重に見えるほか、足先が垂れて歩きにくくなるなどの症状が表れます。知覚神経が障害されると、不快な痛みで悩まされたり、逆に痛みや寒冷を感じにくくなったりします。自律神経が障害されると、立ちくらみ・発汗異常・下痢や便秘・消化吸収の異常・排尿異常・インポテンスなどを起こすほか、重症になると昏睡に陥ったり心拍が止まり急死することもあります。

② 糖尿病網膜症

単純網膜症、増殖前網膜症、増殖網膜症という順番に進行していく不可逆性の網膜血管障害です。増殖網膜症では、硝子体内や網膜の表面にできた増殖膜が収縮することによって牽引性網膜剥離を引き起こします。失明に至る場合もあります。

③ 糖尿病腎症

主に糖尿病発症後 5～10 年以上経過した人にみられます。微量アルブミン尿から始まり、進行すると蛋白尿をきたし、最終的には末期腎不全に至り透析療法が必要となります。

【参考】

- 1.岡庭豊, 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版, 株式会社メディックメディア, 2019
- 2.[糖尿病神経障害 | e-ヘルスネット\(厚生労働省\) \(mhlw.go.jp\)](http://e-helso-net.com/)
- 3.[糖尿病とは | 糖尿病情報センター \(ncgm.go.jp\)](http://ncgm.go.jp/)